

みずほCustomer Desk Report 2022/08/16号(As of 2022/08/15)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	133.07
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	133.30	1.0255	136.77	1.2135	0.7116
SYD-NY High	133.60	1.0269	136.93	1.2149	0.7125
SYD-NY Low	132.56	1.0155	135.30	1.2051	0.7012
NY 5:00 PM	133.32	1.0159	135.46	1.2053	0.7022
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,912.44	151.39	日本2年債	▲0.0900%	0.0000%
NASDAQ	13,128.05	80.87	日本10年債	0.1800%	▲0.0100%
S&P	4,297.14	16.99	米国2年債	3.1936%	▲0.0549%
日経平均	28,871.78	324.80	米国5年債	2.9058%	▲0.0573%
TOPIX	1,984.96	11.78	米国10年債	2.7923%	▲0.0480%
シカゴ日経先物	28,890.00	165.00	独10年債	0.9000%	▲0.0875%
ロンドンFT	7,509.15	8.26	英10年債	2.0195%	▲0.0925%
DAX	13,816.61	20.76	豪10年債	3.3880%	▲0.0390%
ハンセン指数	20,040.86	▲ 134.76	USDJPY 1M Vol	10.10%	0.38%
上海総合	3,276.09	▲ 0.80	USDJPY 3M Vol	10.09%	0.18%
NY金	1,798.10	▲ 17.40	USDJPY 6M Vol	9.77%	0.13%
WTI	89.41	▲ 2.68	USDJPY 1M 25RR	▲0.41%	Yen Call Over
CRB指数	289.54	▲ 3.94	EURJPY 3M Vol	11.52%	0.70%
ドルインデックス	106.55	0.92	EURJPY 6M Vol	11.35%	0.59%

東京	東京時間のドル円は133.30レベルでオープン。仲値前後で実需のドル売りに押されて一時132.92まで下落するも、下値を追う展開とはならず133円台に戻す。その後は薄商いの中で値幅は限定的となり、133.25レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、133.25レベルでオープン。手掛かり材料難で方向感なく推移し、133.18レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は133円台半ばでスタート。東京時間では売り優勢で一時的に133円を割り込む場面もあったが、前日安値付近で下げ渋る。その後、中国で7月分の鉱工業生産や小売売上高の結果が市場予想を下回ったことやサプライズの利下げ発表が伝わる中、対人民元でのドル買いが波及し、ドル円は反発。欧州時間で対欧州通貨のドル買いもあいまって、133.53をつける。しかし、原油価格や米株先物の下落が重しとなり、その後はリスクオフの円買いが強まり、133.15まで反落し、133.18レベルでNYオープン。朝方は海外時間の流れを引き継いだほか、8月NY連銀製造業景気指数が予想を大幅に下回ったことを受けてドル売り円買いが加速し、132.56まで急落。しかし、米金利の低下幅縮小や米株の主要3指数がプラスに転じたことから次第に買い戻され133円台を回復。午後は特段材料は見当たらなかったが、ドル全面高の展開継続でじり高推移。結局、133.35まで戻し、133.32レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.02台半ばでスタート。アジア時間で動意乏しく推移したが、欧州勢参入後はユーロクロスの売りが観測され、1.0200を割り込み、1.0196レベルでNYオープン。朝方は予想以上に低調な米経済指標でドル売りが強まり、一時1.0223まで上昇するが、その後は米株高・債券安の流れを受けてドル買い優勢となる。午後も下値模索の展開が続き、1.0155まで安値を更新。終盤は安値圏で小動きとなり、結局、1.0159レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:永野・松木

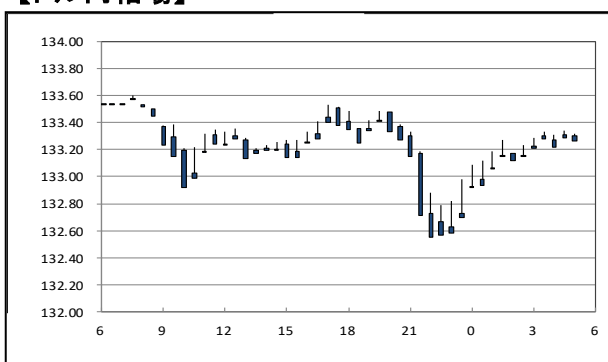
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月15日	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・速報	2Q 2.2%	2.6%
	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・速報	2Q 0.5%	0.7%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・速報	2Q -0.4%	-0.8%
	10:20	中 MLF1年物金利	2.75%	2.85%
	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	7月 3.8%	4.3%
	11:00	中 小売売上高(前年比)	7月 2.7%	4.9%
	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	8月 9.2%/-2.8%	-
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	8月 -31.3	5.0

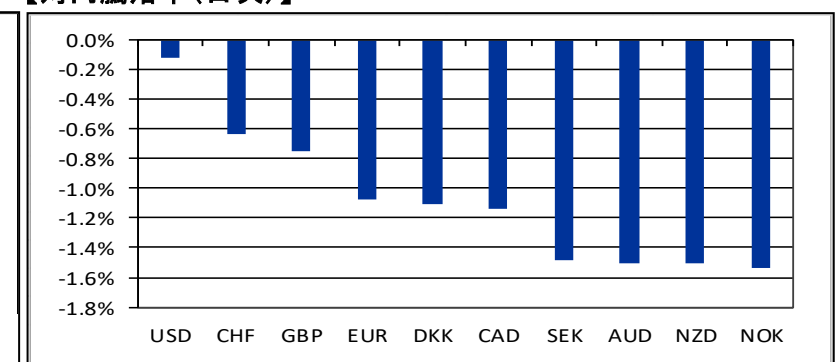
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月16日	10:30	豪 RBA議事要旨	-	-
	15:00	英 週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比)	6月 4.5%	4.3%
	18:00	独 ZEW景気期待指数	8月 -52.7	-53.8
	21:30	米 住宅着工件数/前月比	7月 1528k/-2.0%	1559k/-2.0%
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	7月 0.3%	-0.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	132.50-134.50	1.0100-1.0250	134.50-136.50

【マーケットインプレッション】

金曜日のドル円は反落。アジア時間帯は5・10日による円買いが優勢となり、一時133円台を下抜ける展開。しかし、中国人民銀行が1年MTLを市場予想に反して10bp引き下げたことを受けて人民元安ドル高となり、ドル円もドル高に反応する形で133円台を回復すると、その後は133.30円台を挟んだもみ合いの動き。米国時間帯で発表された8月のNY連銀製造業景気指数が-31.3と市場予想(5.0)を大きく下回る結果となり、米経済低迷懸念から米10年債利回りが低下するとドル安となり、ドル円は再び133円台を下抜けて、一時132.56円まで下落。しかし、先週のFRB高官のタカ派発言を受けて下げは限定的で、その後は133円台を回復し、133.30円台でクローズした。本日のドル円は引き続き下値の堅い展開を予想。133円割れの水準では底堅い推移を見せており、円買い材料にも乏しい中で大きく崩れていく相場は想定しがたくこの水準であれば素直にドル高で見通したい。